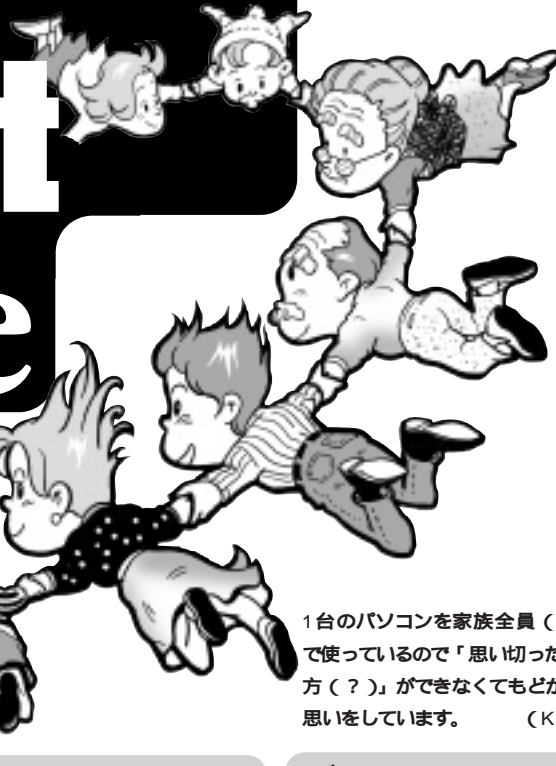


インターネットのCOOL & FOOLが大集合!

# We Love Internet People



今月から新しくなったこのコーナーは、インターネットビブルの皆さんと編集部を結ぶページです。皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。Let's Access!

1台のパソコンを家族全員(4人)で使っているので「思い切った使い方(?)」ができなくてもどかしい思いをしています。(Kさん)

## Reader's Voice

最近またネズミ講もどきのメールが増えているみたいです。先日、参加しているMLのメンバーリストを利用してメールを送った不届き者がいました。(はせさん)

**KDDから200円の請求書**。利用した覚えはないし、金額もさほど高くない。アダルトサイトを訪れると、高額な請求書がKDDから届くことがあるとは聞いたことがあるが、そんな覚えもない。通信先は米国らしい。金額が少ないので、徹底的に追及する気もおきないが、きつねにつままれたような気分である。(さとゆきえさん)

インターネットで**初めての買い物**。インプレスダイレクトでVBの本を買いました。まだ2日しか経ってないのに、いつ届くかいつ届くかと玄関の前で待っています。(15歳 高専生)

なんか、アメリカの**エライところ**が落ちて大変だったようですね。(まさしさん)

会社でインターネットが取り入れられました。私のような中年には難しいけれど、**まだまだ若いモンには**負けたくないのです。現在、猛勉強中です。(初心者の課長です)

通信料って何とかならないものでしょうか。**すごく割高**だと思います。(飯山康彦さん)

最近の最新技術や各媒体の紹介記事は、どれも専用線でなければ楽しめないものばかりでつまらなかったが、ADSLには期待しています。(小島さん)

**このメールがちゃんと届いているのか心配**です。(岐阜県 木村さん)

「このサービスの利用には会員登録が必要です。まずはこちらで会員登録を行ってください。会員登録は無料です」...。こんな言葉をホームページ上で多く見かけるようになりました。利用する側は「タダならいいか...」と思って登録ばかりしていると、どこに自分の個人情報を書き込んだのかわからなくなってしまいます(もう、すでになっている?)。覚えのないところからメールが届いたりすると「なんで、オレのメールアドレスを知ってんだ?」と不安になったりもするので、登録も**ほどほどに...**(高橋直樹さん)

市内にアクセスポイントができたので、テレホーダイタイムはインターネットにハマっていますが、11時以降は混雑しているし、何日も続けますと体ももちません。早朝は学校があるのでほとんど無理です。料金は上がってもいいので**「24時間テレホーダイ」**というサービスがほしいです。(大分県 大野大さん)

インターネットを子供にやらせていいものかどうか悩んでいます。(桜井さん)

**ボーナス**で買ったパソコン。インターネットも**ハマってます**。(まつださん)

せっかくインターネットを始めただから、ホームページを見ているばかりではなく自分でもホームページを作ってみたいです。(宮崎県 佐々木さん)

最近のサイトって、どれも同じ気がするんですが...。(主婦)

わが家でも、田舎の年老いた両親を教育(洗脳?)中です。最初はマウスさえ上手く動かすことができませんでしたが、ようやくキーボードに文字を打ち込むことができるようになりました。もちろんローマ字なんて知らないで**「かな入力」**ですが...。インターネットへの道のりはまだまだ果てしなく長い気がします。(東京都 北野さん)

私も会社で、香港返還のインターネット中継を見ました! 時代も変わりましたねえ~。(佐伯さん)

from Editor  
あなたが最近感じたことを、どしどしメールしてください。詳しくは389ページを!

皆さんからお寄せいただいたインターネットにまつわる失敗談を紹介します。  
鼻で笑っている人、他人事じゃないですよ～！



私は普段はダイヤルアップブローターを使っているのですが、接続や切断をまったく意識していませんが、この間友人の家でインターネットをやったとき、いつものクセで、切らないでそのまま家に帰ってしまった。そろそろ彼の家に請求書が来るころだと思つくと、怖くて言い出せません。皆さんもこんなことはありませんか？  
(S.H. コメンさん)

よく新聞や雑誌で「不倫メール」や「オフィスラブメール」なんて記事を見て笑っていましたが、とうとう僕もハマっていました。社内の彼女をデート（ホテルのレストラン）に誘おうと書いたメールを上司に送ってしまった。上司から「もちろんあなたのおこりよね」と返事が…。それ以来、僕はみんなの笑い者です。  
(K.M.さん)

メーリングリストで知人の失敗談を披露したところ、なんと知人の奥さんがメーリングリストのメンバーだった！しかもその失敗談とは彼の結婚前の女性関係…。離婚なんかにならなきゃいいんだけど…。  
(バツイチさん)

妻にはインターネットなどまるで見えないとタカをくくつてた私がアマかった…。どこで覚えたのか、私の渾身のアドルトブックマークが妻に見つかり、消去されてしまいました。集めるの大変だったんだぞ、くそっ！  
(匿名希望さん)

子供にインターネットを教えたために、電話代が3倍になりました。日ごろ「夜ふかししないで早く寝ろ」と叱っている手前「テレホーダイを使え」とも言えず、毎月NTTとプロバイダーの請求書にビクビクしています。こんなことなら教えるんじゃないかった！  
(松柳公一さん)

今マレーシアは「果物の王様」ドリアンの季節もばちばち終わり、街中に「中秋月餅」が出回るムーンフェスティバルのシーズン到来を待っています。この月餅、日本のものと違って厚さ5センチもある迫力の代物。ちょっと1つは食えないよ。ともあれ、マレー人も中国人もインド人も、みんなお互いのお祭りを楽しんじゃう、そこがいいよね。そんなマレーシアに僕が初めてやって来たのが6年前の2月。飛行機の窓から見下ろす大地は一面のヤシ林。極寒の日本から降り立った体に熱風がからみ付く。  
「南国だぁ！」  
ちょうどその時期はラマダン（イスラム教の断食月）で、宗教と生活

のかかわりを初めて体験しました。会社ではマレー人の女性スタッフが机で寝てたりするんだけど、中国系のスタッフが「そととしておいてね」と目配せする。きっと食事のしたくなどで夜中はほとんど眠れないんだね。昼間は水も飲めないんだけど、それを他人種の人たちがけっこう思いやるんだ。こっそり昼飯食いに行ったりしてね。そうこう過ごして去年の2月（時代は飛ぶつ！）、初めてインターネットというものを知っ



Jalan Jalan 通信  
山森淳

URL <http://www.junmas.com/>

## 第1回 「初体験!マレーシア」

# アパカバー APA KHABAR!?

(元気イ!: マレー語)

た僕と20年来の相棒Masは、マレーシア唯一のできたてプロバイダーに加入。感動のネットサーフィンを体験。だけどね、マレーシアの日本語ページがない。そうか、そういうことかと幾分ムツとしたけど、ないなら自分たちで作っちゃおうかと紀伊国屋でガイドブックをGET。HTML? タグ?... 大学受験を思い出す中国正月休み。勉強した、作った、寝食を忘れて。家族を無視して。そして完成! さっそくマレー

シアのプロバイダーにメールすると2日後に返事が…。  
「個人のページ公開は禁止。残念でした」  
連休をつぶされた家族の手前、死んだフリをするJun & Masでありました…。  
(つづく)

山森淳 (Jun) ... マレーシア7年、1959年生まれの38歳。井上優 (Mas) 氏とともにマレーシア情報サイト「Jalan Jalan」を運営する。



「道端のドリアン売り そろそろ店じまい...」

# 私のホームページ自慢!

あなたの自慢のホームページを紹介します。どれも作者の自信作です。とくにご覧あれ!

ARISE

URL <http://www.na.rim.or.jp/~arise/>

「スポーツカイトの情報量は日本一!」と自分で言っちゃいますが、かなり気合い入れて作りました。特に、これからカイトを始める人や初心者向けの内容を重視して作っていますので、雑誌などでカイトを知ってちょっと興味を持ったような人にぜひ見て欲しいですね。また、ショップでもありますので、ネット上での通販申し込みもOKです。初心者の人からのメールがよくありますが、分からないことはどんどんメールで質問してください。まだまだマイナーなスポーツだけに、少しでも多くの人にこのおもしろさを知って欲しいのです。

(山岸幹也さん)



スポーツカイトの専門用語が分からなくても、用語辞典があるから安心の「ARISE」

美土里の森 in Hiroshima

URL <http://www.urban.or.jp/home/tono/>

田舎に引っ越したデザイナーのこだわりホームページです。田舎暮らし、旅、アウトドア、ふるさと産品、空き家、ショップ、イベント、プレゼントなどが満載。田舎暮らしを考えている人には参考になり、憧れている人には田舎の風を感じてもらい、田舎ならではのものが欲しくなったら届けてもらえる、そんなホームページです。

(森一紘さん)

お手軽! ぼらんていあ

URL <http://www02.sonet.or.jp/~tera/>

小学生でも参加でき、気軽に手伝えるボランティアを紹介しています。会費を払わなくても簡単に身近で協力できることはあるようです。少しでも世の中の役に立てよう(?! )内容を充実させていこうと思っています。「ボランティアって、なんだか面倒くさそう...」と思っているあなた! ぜひのぞいてみてくださいな。

(寺嶋ともえ)



(株)リムネットでユーザーサポートを担当する高本佳世子さん(右)と赤松玲さん(左)

プロバイダーのユーザーサポートには、連日多くのユーザーから質問や問い合わせが寄せられる。そんな中には困った質問も...



ユーザーサポート秘話

# プロバイダーも

# つらいよ!

皆さんもご存じかと思うが、プロバイダーのユーザーサポートには毎日多くの質問が寄せられる。質問の内容もそれぞれで、なかには困った質問もあるという。今回、1日に200件以上の問い合わせに対応するリムネットのユーザーサポート担当者に、日々の表には出ないユーザーサポート秘話を語っていただいた。

どのような質問が多いですか? 「多いのは『ちゃんとやってるんだけど、つながらないよ』という接続についての問い合わせですよ。設定ミスの場合が多いんですけどね(高本さん)」

「そうそう、アクセスポイントの電話番号を入れるときに自分の家の電話番号を入れたりとかね(赤松さん)」

「パスワードがかかっているホームページが見られない」とおっしゃるので、よくよく聞いてみるとHなサイトだったとか... (赤松さん)

ほかにはどんな問い合わせがありますか?

「IDとパスワードが分からないということ、いろいろ調べたんですけど分からないんですよ。するとお客様が『あれ、おたくニフティじゃないの?』ってことがありました。あと、お問い合わせの電話のはずが、いつの間にかお客様が販売している商品のセールストークを延々と聞かされたなんてことがありました(赤松さん)」

質問する場合、どのような「と」に気をつけるといいのでしょうか?

「二つは精一杯サポートしますので、自分も自発的にやってみようと思ったほうが楽しくなるし、覚えも早くなると思います。あとは、使っているOSやソフトなど、自分の状況を正確に把握しておくことが大事ですね(高本さん)最後に赤松さんが心温まるエピソードを披露してくれました。

「サポートに対応したお客様からお礼ということで後日スカarfをいただいたことがありました。これには驚きましたね(赤松さん)。皆さん、ユーザーサポートは上手に使いましょね。」

あなたの代わりに調べます！

# メールアドレスがもらえる 大学を受験したい！

このコーナーでは、あなたの「見たい」「聞きたい」「知りたい」を応援します。

あなたが「気にはなるけど自分では調べられない」ということを、編集部が代わりに調べます。

どんなくだらないことでも結構です。ちょっとでも気になることがあったら、編集部におねだりしてください。

## 今月のおねだり

僕は現在受験勉強中の浪人生です。「夏を制するものは受験を制す」という先人の言葉を信じ、この夏は受験勉強にいそしんでいます。今は家の電話を使ってインターネットをしています。大学に入った暁には、学校の設備を利用してインターネットをやりたいと思っています。最近では学生にメールアドレスが配布される大学が増えてきたと聞きますが、主に理系の人中心だと思えます。そんな話は受験案内にも出ていないので分かりません。文系でもアドレスってもらえるんですか？ 本当のところを教えてください。（埼玉県 佐野さん）

ダイヤルアップユーザーにとって、専用線接続は憧れの的。本誌読者の皆さんなら、せっかく大学や会社に入るからには専用線でインターネットを使ってみたいと思うのは当然のこと。今回は、悩める受験生のおねだりに応え、電子メールのアドレスを学生に配布している大学が実際に多いのかどうかをチェックしてみよう。今回は、朝日新聞社の『大学ランキング'98』で「生徒に勧めたい大学」の上位10校にランキングされた大学をリサーチした。

調べた結果が右の一覧表だ。もちろんこれは一部なので、ここに出ていない大学ではインターネットが使えないということではない。すでに多くの大学でインターネットが取り入れられているということが分かるだろう。さらに調べてみると、全学生にアカウントを発行している大学は意外と多く、昨年、今年からという大学がほとんどだった。一部の大学では、学校としてアカウントの発行は行っていないが、研究室単位で担当教授の裁量で発行しているというケースもある（東京外国語大学など）。これは、サーバー自体が研究室の管理なので、管理者である教授が、自分の研究室の学生に

アカウントを与えるということだ。また、文系の大学でのインターネット利用希望者は、大学主催の講習会を受講するなどして知識を習得させたのちにアカウントを発行する大学もあった（専修大学）。

ホームページを持っている大学の多くでインターネットが利用できるようなのだが、最近の受験案内には大学のホームページのURLも掲載されている。ホームページには問い合わせ先のメールアドレスがある場合が多いので、「大学に入ったら何がなんでもインターネットを使いたい！」という皆さんは、志望校を決定する前に一度大学に問い合わせしてみようじゃないかな。きみの春はもう近い、がんばって！

10月から全学生にアカウントを配布する

## 上智大学の場合

上智大学（本部：東京都千代田区）では、これまでは電子計算機センターに登録した学生しかインターネットを利用できなかったが、この10月1日からは全学生が利用できるようになる。上智大学広報課にお話をうかがった。

「現在はまだ準備中ですが、10月までに職員を含む全学生を登録します。約1万人のうちの、ほぼ9割終了したところ。最近では就職活動でインターネットを使うようになり、学生側からのニーズも高まってきました。世の中の流れを見てもインターネットが注目されている中で、大学全体で導入するに至りました」

上智大学では10月までに端末室3室を増設し、コンピュータも280台に増やすという。



上智大学のホームページ。同大学の力の入れようがうかがえる充実したコンテンツだ。

URL <http://www.sophia.ac.jp/defaults.htm>

## 「生徒に勧めたい大学」上位10校のメールアドレス発行状況

- |   |  |
|---|--|
| ① 慶応義塾大学...全学生に発行<br>URL <a href="http://www.keio.ac.jp/index-jp.html">http://www.keio.ac.jp/index-jp.html</a>        | ⑥ 国際基督教大学...全学生に発行<br>URL <a href="http://www.icu.ac.jp/">http://www.icu.ac.jp/</a>                                      |
| ② 京都大学...全学生への発行は来年度からを予定<br>URL <a href="http://www.kyoto-u.ac.jp/">http://www.kyoto-u.ac.jp/</a>                    | ⑦ 東京工業大学...全学生への発行は現在検討中<br>URL <a href="http://www.titech.ac.jp/home-j.html">http://www.titech.ac.jp/home-j.html</a>    |
| ③ 東京大学...全学生に発行<br>URL <a href="http://www.u-tokyo.ac.jp/index-j.html">http://www.u-tokyo.ac.jp/index-j.html</a>      | ⑧ 筑波大学...全学生に発行<br>URL <a href="http://www.tsukuba.ac.jp/welcomeJ.html">http://www.tsukuba.ac.jp/welcomeJ.html</a>       |
| ④ 東北大学...研究室、学部学科ごとに発行<br>URL <a href="http://www.tohoku.ac.jp/index-j.html">http://www.tohoku.ac.jp/index-j.html</a> | ⑨ 一橋大学...全学生に発行<br>URL <a href="http://www.hit-u.ac.jp/">http://www.hit-u.ac.jp/</a>                                     |
| ⑤ 早稲田大学...全学生に発行<br>URL <a href="http://www.waseda.ac.jp/index-j.html">http://www.waseda.ac.jp/index-j.html</a>       | ⑩ 上智大学...10月から全学生にアドレスを発行<br>URL <a href="http://www.sophia.ac.jp/defaults.htm">http://www.sophia.ac.jp/defaults.htm</a> |

ランキングは『大学ランキング'98』朝日新聞社発行による

# あの人に 会いたいですか?

話題のホームページの作者はどんな人?

## INTERVIEW

インターネットにお墓を作る  
というのを思いついたのはお  
父様だそうですね。

うちの親父は59歳ですが、パソコンやインターネットについては素人なんです。素人だから思いついたのかもかもしれません。ただ、先見の明はあるみたいで、バブルの前で数百万円のお墓が売れていたときに、1人11万2000円の共同のお墓を売出すと言いつつ出た。まわりに反対されたんだけど、結局、今はその共同のお墓が一番売れているんです。親父がインターネットのお墓というのを言い出したときも、最初は「また始まった」と思っていたんです(笑)。でも、今考えてもすごいなと思うのは、ホームページは情報を発信する場所なのに、それを個人の生前の記録を収めるとか、情報をしまっておく場所として考えたことですね。もちろん、アクセスしてくれば故人の経歴は読めるわけですから、情報発信もしているんですけど、インターネットをお墓という情報をしまっておく場所として使おうという発想はすごいなと思いました。コンピュータやインターネットが

よっとできる人は、そういうことを思いつかないんです。コンピュータはデータベースとかワープロとか、そういうふうにするものだという先入観があるから、自分の知識の中でしか発想が出てこない。でも、使えないヤツは始末が悪くて(笑)、コンピュータは何でもできるんじゃないかと思っている。お寺がインターネット使うとしたら、普通は、お寺の紹介をするとか、お墓の広告を出すという程度じゃないですか。

インターネットのお墓に手を合わせることに、違和感はありませんか。

正直言って違和感があります。でも、信仰の対象物というのはそれぞれ違うわけで、礼拝するのは、仏壇の中の位牌なのか、インターネットの画面の中のお墓なのかというのは、人それぞれだと思います。私は、インターネットのお墓でいいんだとは言いません。いろんな選択肢があったほうがいいと思います。コンピュ

お寺がインターネットを使って紹介や宣伝をするというのは最近よく見かけるが、東京巢鴨の功德院が試みているのは、インターネット上にお墓を作ってしまうというものだ。そのページにアクセスすれば、3D画面で霊苑を散策したり、お花やお線香をそなえたり、お経を聞いたりできる。そのうち「お墓はインターネット」が普通になるのだろうか。「サイバーストーン」を運営する住職の松島龍戒さんにお話をうかがった。



インターネットで供養するお墓「サイバーストーン」を始めた  
高野山真言宗龍源山功德院の住職松島龍戒さん

ータの画面だけでは味気ないという方のために、ノートパソコンをハメ込める仏壇も試験的に作っています。インターネットのおかげでいつでもお参りができるとか、故人の膨大な記録が残せるというメリットを優先する方には、インターネットのお墓でいいのではないかと思います。

功德院のページは松島さんが作られたそうですね。

いや、作ることは作りましたけど、全然更新していないし、作り方が下手だから重いし、もうちょっと何とかしないとイケないんです。ホームページ作成ソフトを買ってきてやっただけで、HTMLのこともあまりわかってないんですよ。パソコンを始めたのは、7、8年前からで、お寺の会員管理とか必要に迫られてデータベースを作ったり、ワープロを使ったりしていました。仕事以外

でも、音楽をやったりニフティサーブを使ったりはしていました。「サイバーストーン」のほうは、3Dで霊苑の中を散策したり、クリックすると般若心経が流れたり、ショックウェーブでお花やお線香を供えるというのがあるのですが、ちょうど縁のあったNHKテクニカルサービスさんにお願いしています。

今は、お墓は見本のものだけですが、実際にインターネットのお墓に入ろうという方はいらっしゃいますか。

まだお1人ですが、申し込みをいただいている方がいます。その方はお嫁に行つて実家の先祖を祀る方が誰もいなくなる。今は過去帳が残っているだけで、ご先祖はお寺でも見てもらえないし、どうなっちゃうんでしょうというご相談を受けたんです。お骨も何も残っていないけど、



過去帳は残しておきたいというので、それなら、インターネットに過去帳をそのまま記録することができますよというお話をしました。その方のおっしゃるのには、今の自分があるのはご先祖のおかげだから、そのことを何かの形で残しておきたいというんですね。

サイバーストーンにアクセスしてくるのはどんな方ですか？

4月からスタートして、7月でアクセス数4000というのは、そう多くはないと思いますが、興味や関心を持って見てくださっている方は多いようです。実際に入ろうという人はそれほど多くありませんが、反応はものすごく大きいようです。まあ、でもそれは仕方ないことで、実際にお墓のことを考える60代、70代の人たちは、インターネットがなんたるかもわからないでしょうし、インターネットを主に利用する若い人たちは、お墓についてまだ考えることはないでしょう。雑誌で紹介されたので3Dで霊苑の中を探索するのに興味があって、たまごっちのお墓と同じくらいの感覚で見にくるんでしょうね。でも、これから10年、20年すると、そうした人たちが興味を示してくれるようになると思います。

「サイバーストーン」には、お骨ではなくて、髪の毛を納めるんですね。

お墓には2つの側面があります。1つはお骨を納めておくという側面、もう1つは記録を納めておくという側面です。記録のほうは、これまでの墓誌に書かれているのは、せいぜい名前と戒名と没年月日と享年くらいですが、インターネットという現代の媒体を利用して、その方の声や写真や経歴を残すことができます。今ではもう1つ、お墓がなくて困るという方のほかに、あつて困るという方もいらっしゃいます。郊外に大きなお墓を作ったのはいいけれど、のちのち管理する人がいなくなってしまう。それでは、いくら大きなお墓を立てても無駄ですね。それよりも、ネットワークの中にお墓を作って、縁者はどこにいたってインターネットにつなぎさえすればお参りができる。それならお骨ではなくてもいいので、灰にして自然還元することで「お骨レス」にする。身体的なものが何も残らないのは淋しいというのなら、髪の毛を残し

たらどうだろう。焼いたお骨には遺伝子情報は残っていませんが、髪の毛には個人を識別するDNAの情報があります。今はDNAというと、クローン羊という議論になりますが、個人を識別するものを後世にわたって残すのは意味があるのではないかと思います。もちろん、セキュリティの面では、髪の毛を納めた場所は公表しないとか、慎重に進めることが必要だと思います。

将来は、「サイバーストーン」のようなものが普通になるのでしょうか。

お墓に対する価値観というのは、どんどん変わっています。ここで霊苑を始めて10年になりますが、10年

前には大きくて立派なお墓を建てたいという方が多かったのですが、今は景気が悪くなっていることもあり、お墓の面倒を見てくれる子供がいらないから、共同のお墓でもいいという方が増えています。死んだら親類縁者は1人もいないという人でも、共同のお墓なら誰かがお参りに来てくれる。そういう安心感に支えられている部分はあるんですね。それと同じように、インターネットのお墓なら、全然知らない人がアクセスしてお参りしてくれるかもしれない。そういう安心感が持てるんじゃないかと思います。

(取材・文 / 鈴木康之)



ショックウェーブでお墓参りもできる！

URL <http://www.haka.co.jp/>

## 投稿

このコーナーは読者の皆さんからの投稿で成り立っています。

## 大募集!

ぜひ! あなたのメールアドレス帳に『インターネットマガジン 投稿(ip-box@impress.co.jp)』を登録してね!

### 「わたしのまわりの困ったちゃん」

あなたの身の回りの困った人たちを紹介してください。インターネットにまつわる話ならなんでもOKです。

### 「インターネット川柳」

インターネットに対するあなたの思いを五七五で表現してみよう!

### 「5年後、インターネットはこうなる」

インターネットの5年後はこうなるだろう、こんなことができるようになるだろう、というあなたの夢(?)をお聞かせください。

このほかにも、「このホームページの作者インタビューが見たい!」「こんなことを調べて欲しい!」こんなテーマで投稿を募って!、本誌の感想などなど、どんなことでも結構ですから、身の回りで起こったことは、じゃんじゃんメールでお送りください。なお、投稿の際は、お名前(ペンネーム可)、ご住所(県)も明記してください。

宛て先はすべて

**ip-box@impress.co.jp**

です。投稿文にはダイレクトプラスを発行します(390ページ参照)。投稿お待ちしています!



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)